

はじめに

本市の将来像は、「～未来につなぐ～ 住んでみたい 住んでよかったまち 津島」を掲げ、まちに関わるすべての人の思いが詰まった、共感できるまちを目指しています。この将来像の実現に向けて、障がい者福祉分野では、障がいのある人が、その状態に合わせて必要な障がい福祉サービスを利用しながら、安心して地域社会の一員として自立した生活ができるまちづくりを進めています。

国では、障害者総合支援法の施行により、障がいのある方のニーズに基づいた地域生活支援体制を整備する方向性が示されており、ライフスタイルの多様化に対応した切れ目のない一貫した支援や環境づくりが一段と求められています。

本市におきましても、こうした社会情勢の変化に対応し、障がい福祉施策を一層充実させるため、令和6年度からの新たな「津島市障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」を一体的に策定しました。

計画の基本理念として掲げる「障がいのある人をはじめ誰もが地域でともに生き、ともに支え、ともに参画できる『共生社会』の実現」をめざし、障がいのある人の日常生活を支えるサービスや相談支援の提供体制の整備を進めます。また、障がいのある人への差別解消や権利擁護の取り組みも充実してまいります。

今後とも、計画を推進していくために一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、この計画を策定するにあたり、アンケート調査、ヒアリング調査及びパブリックコメントなどを通じて貴重なご意見をいただきました障がい関係団体及び市民の皆様、並びにご協議いただきました策定委員会委員の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

令和6年3月

津島市長 日比 一 昭

